

第38回横浜マリノールカップ 女子Aゾーン決勝8月6日(日)

榎が丘ファイターズ 33 vs 24 東希望が丘ミニバスケットボール部

1Q

両チーム、ハーフコートマンツーマンで試合が始まる。榎が丘は#4の1on1を中心としたオフェンスを見せるが、東希望が丘の固いディフェンスに阻まれ思うように攻めきれない。一方の東希望が丘は、小気味良いパス回しで榎が丘を翻弄し得点を量産。6-11 東希望が丘リードで終了。

2Q

榎が丘ボールからスタート。両チームのディフェンスはハーフコートマンツーマン。序盤は、一進一退の攻防で1分経過。東希望が丘#6がドライブを仕掛けるが攻めきれずリターンパス。これを榎が丘#5が素早く反応し、スティール。そのままドリブルで持ち込み、得点。この速攻で流れが変わる。東希望が丘は、インサイド#10を中心にオフェンスを試みるが、うまく噛み合わず得点が止まる。一方、流れに乗る榎が丘は、#5が連続得点で逆転し16-13榎が丘リード。残り1分30秒、東希望が丘たまたまタイムアウトを要求。東希望が丘ボールでゲーム再開。東希望が丘#15のドライブでフリースローを得る。この2本を確実に決め16-15と1点差に詰め寄る。残り15秒、東希望が丘のルーズボールファールで榎が丘ボールとなり、榎が丘タイムアウト。ラストプレイを#5がジャンプシュートを決め、18-15榎が丘リードで前半終了。

3Q

両者ハーフコートマンツーマンで後半開始。両チームともにミスが続き、重い立ち上がりとなる。開始2分。口火を切ったのは、流れに乗る榎が丘。#4がドライブで強引にねじ込む。東希望が丘は#4のドライブインで反撃するが、3Qの得点はこの2点のみ。#4 #5を中心とした榎が丘に点差を広げられ28-17榎が丘リードで3Q終了。

4Q

榎が丘は#11を下げ#6を投入。追いかける東希望が丘はメンバー変更なし。両チームともベストメンバーで最終Qに挑む。両者ハーフコートマンツーマンで開始。榎が丘は#7の速攻でバスケットカウントを得るがフリースローをものにできず、その後東希望が丘の固いディフェンスに阻まれ4分間得点が止まる。追いかける東希望が丘は#4が積極的なプレイでチームをけん引。ドライブインで得たフリースロー2本を沈める。直後の榎が丘オフェンス。左45度からトップへのリターンパスを東希望が丘#4がスティールし、アンスポーツマンライクファールを得る。一時、8点差まで詰め寄るが、流れを引き戻すことはできず。最後、榎が丘#4にフリースローで得点され33-24で試合終了。榎が丘が優勝した。

